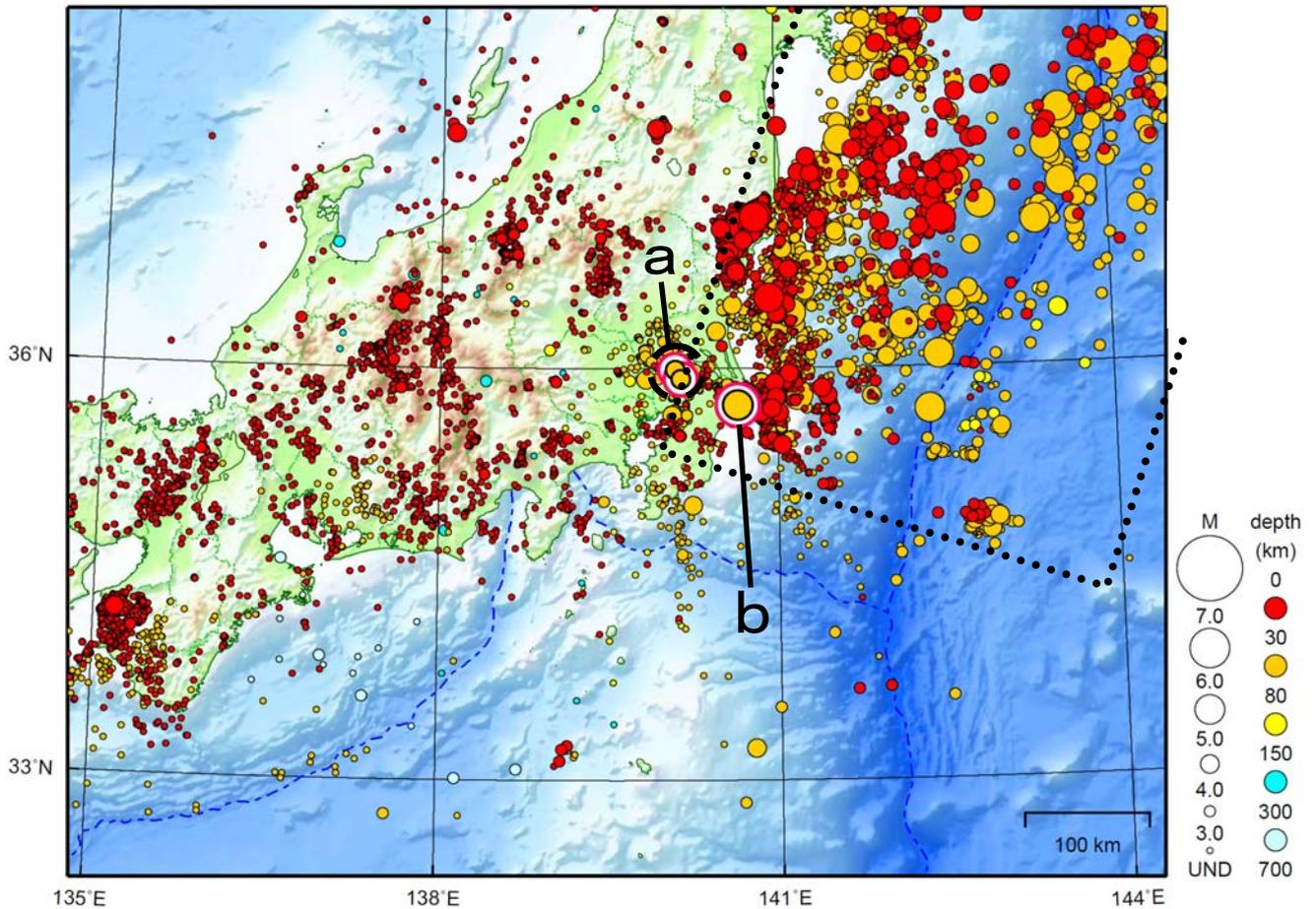


関東・中部地方

2011/05/01 00:00 ~ 2011/05/31 24:00

N=12862



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- a) 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、茨城県南部でまとまった地震活動が見られている。5 月中は、20 日に M4.6 の地震（最大震度 4）、25 日に M4.5 の地震（最大震度 3）などが発生した。
- b) 5 月 22 日に千葉県北東部で M5.5 の地震（最大震度 4）が発生した。

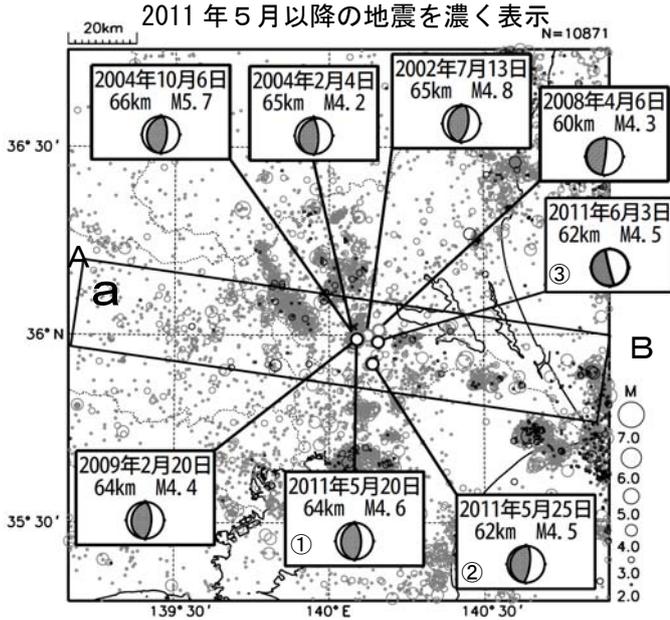
（上記期間外）

6 月 2 日に新潟県中越地方で M4.7 の地震（最大震度 5 強）が発生した。この地震は 3 月 12 日に発生した M6.7 の地震（最大震度 6 強）の余震である。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

5月20日、5月25日、6月3日の茨城県南部の地震

震央分布図（1997年10月1日～2011年6月6日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ ）

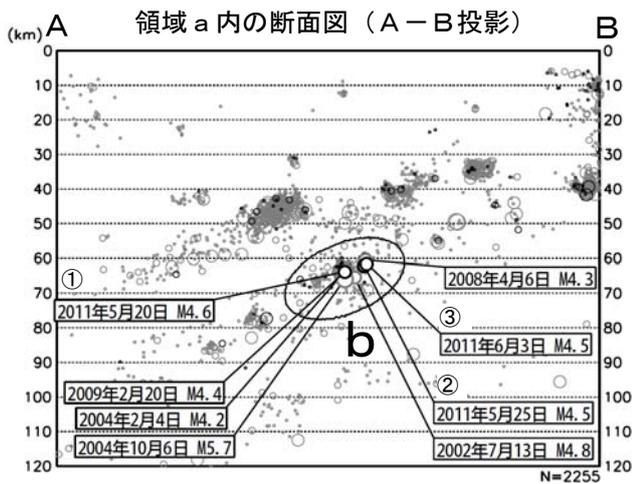


①2011年5月20日17時53分に茨城県南部の深さ64kmでM4.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であった。

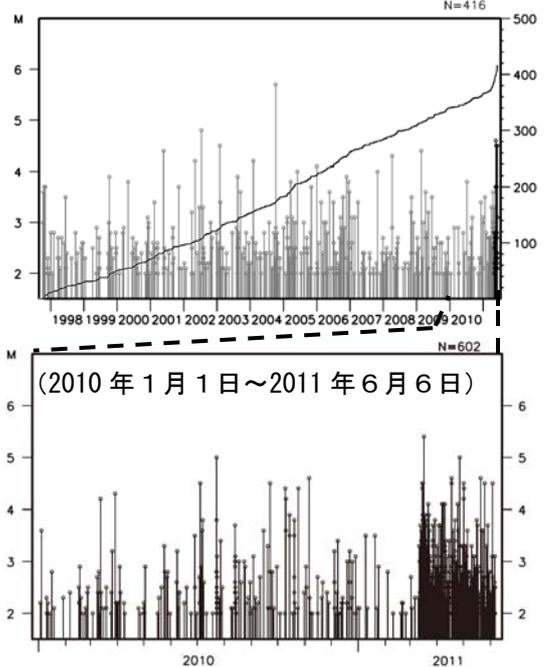
②5月25日09時19分に茨城県南部の深さ62kmでM4.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。

③6月3日10時33分に茨城県南部の深さ62kmでM4.5の地震（最大震度3）が発生した。

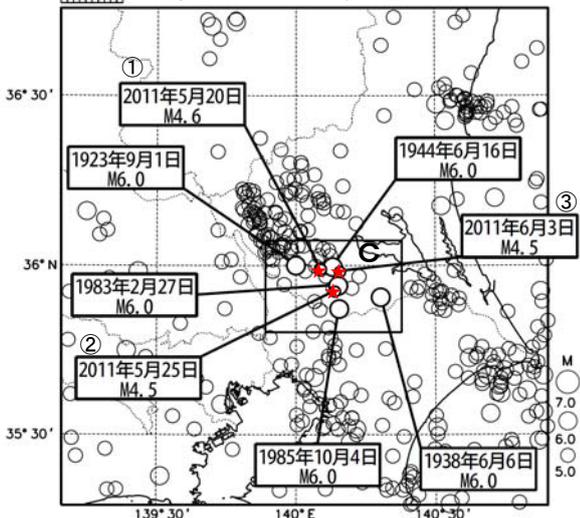
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、2004年10月6日にM5.7の地震が発生している以外、M5.0以上の地震は発生していない。



領域b内の地震活動経過図及び回数積算図

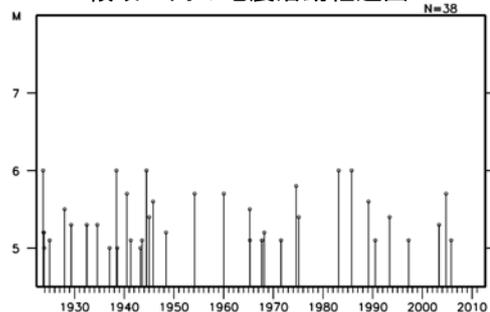


震央分布図（1923年8月1日～2011年6月6日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0の地震が5回発生している。そのうち、1983年2月27日に発生した地震（最大震度4）では、負傷者11人などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

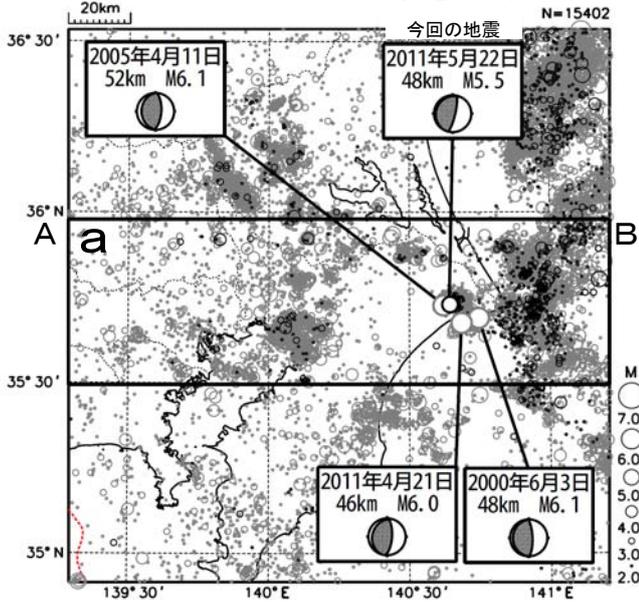
領域c内の地震活動経過図



★印は今回の地震の震央位置

5月22日の千葉県北東部の地震

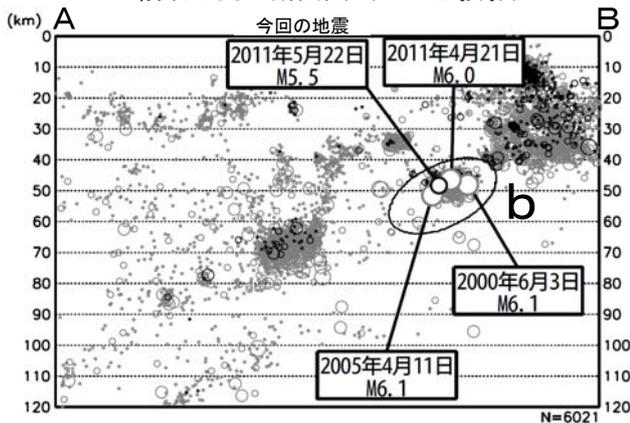
震央分布図（1997年10月1日～2011年5月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ ）
2011年5月以降の地震を濃く表示



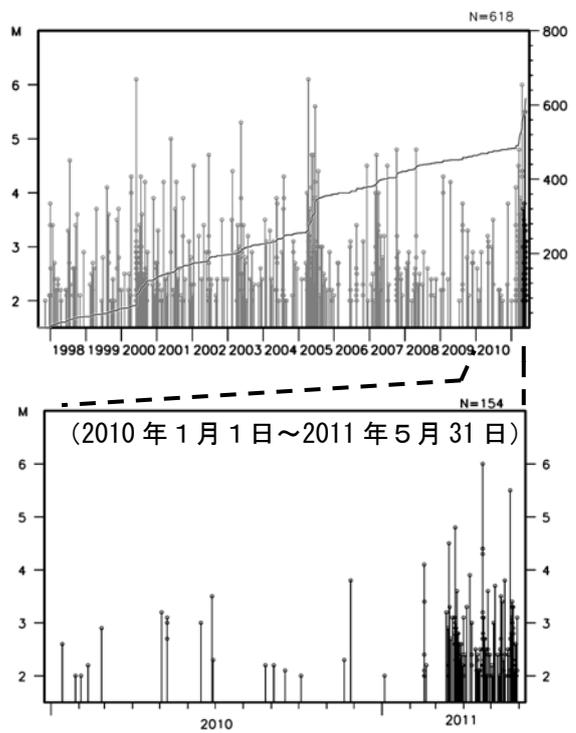
2011年5月22日07時06分に千葉県北東部の深さ48kmでM5.5の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、2011年4月21日に発生したM6.0の地震など、M6.0以上の地震が3回発生している。

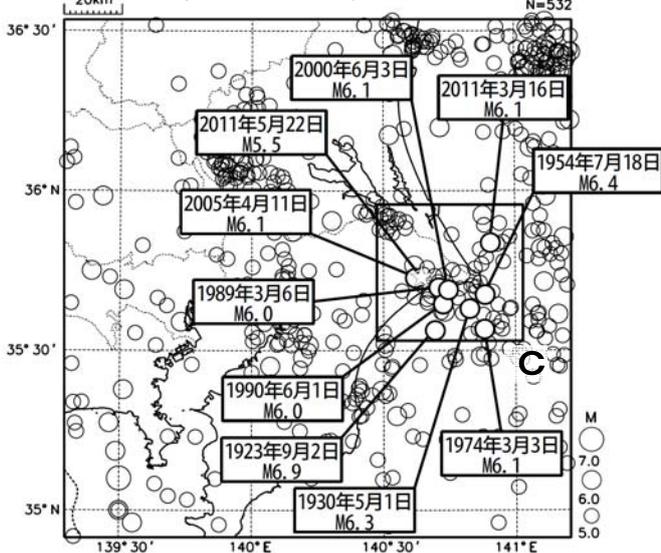
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



震央分布図（1923年8月1日～2011年5月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生しており、2000年6月3日に発生したM6.1の地震では負傷者1名、住家一部破損35棟等の被害が発生している（総務省消防庁による）。

領域c内の地震活動経過図

